

## 富士宮市物品等購入公募型指名競争入札

- 1 入札番号 第 20012 号
- 2 物品購入名 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 2 台
- 3 納入場所 仕様書のとおり
- 4 納 期 令和 8 年 3 月 3 1 日
- 5 概 要 別紙のとおり
- 6 参加資格要件
  - (1) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者
  - (2) 富士宮市物品購入の入札参加資格の認定を受けている者
  - (3) 富士宮市物品製造等の契約に係る指名停止等措置要綱に基づく指名停止措置を受けている期間中でない者
  - (4) **【地域要件なし】営業種目 16-06【消防防災用品ー消防自動車】登録者**
- 7 申 込 手 続 等 富士宮市物品購入等公募型指名競争入札参加申請書 (別記様式) をファクシミリ又は郵送 (提出期日までに必着) で申請すること。

※ 申請後必ず契約管理課契約係に電話連絡すること。
- 8 申請書提出日時 令和 7 年 5 月 1 日午後 2 時まで
- 9 指名通知書発送日 令和 7 年 5 月 8 日予定
- 10 その他必要な事項
  - (1) 審査の結果については、後日通知する。
  - (2) 入札保証金 不要
  - (3) 契約保証金 不要
  - (4) 入札心得書を示す場所 富士宮市役所総務部契約管理課
  - (5) 入札の無効に関する事項 富士宮市物品の購入及び製造の請負に係る入札心得書第 12 条に該当する入札

総務部契約管理課契約係

電話 0 5 4 4 - 2 2 - 1 1 2 1 (直通)

FAX 0 5 4 4 - 2 2 - 1 1 4 2

別記様式（第5条関係）

（送信票は必要ありません。この申請書のみFAXしてください。）

## 富士宮市物品購入等公募型指名競争入札参加申請書

令和 年 月 日

富士宮市長 へ

◇申請者

住所			
商号又は名称			
代表者職氏名			
電話番号		FAX番号	
担当者			

次の物品等購入案件について、入札に参加したいので申請します。

◇参加希望物品等購入案件

入札番号	第 号	※入札のお知らせに記載してあります。
案件名		
添付書類等	※入札のお知らせで指定した場合のみ	
備考		

富士宮市総務部契約管理課

TEL：0544-22-1121

FAX：0544-22-1142

※FAX送信後は、必ず電話で受信確認をしてください。

消防ポンプ自動車（CD-I型水槽付き）  
仕様書  
（第5分団・第8分団）

富士宮市  
令和7年度

## 【第1章 総則】

### 1 目的

この仕様書は、富士宮市（以下「本市」という。）において、製作依頼する消防ポンプ自動車（CD-I型水槽付き）の艤装、性能及びこれらに関する事項について定める。

### 2 法令適合等

車両は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）、日本消防検定協会の「消防車両の安全基準」（平成19年）を満たし、日本消防検定協会の検定に合格すること。また、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

### 3 装備品等

車両取付品、取付装置品、積載品及び附属品は全て新規製品及び最新式のものであり、十分な強度及び安定度を有し、耐久性、耐食性に優れ優美であるとともに、関係機関の認定及び検査を必要とするものについては、それに合格したものであること。

### 4 契約

- ① 契約に当たっては、本仕様書を了承し、不明な点は富士宮市消防本部警防救急課（以下「警防救急課」という。）と協議し、十分内容を熟知の上締結するものとし、以後の一切の疑義は警防救急課の解釈に従うものとする。
- ② 受注者は、契約締結後10日以内に警防救急課と製作に関する詳細な協議を行い、その結果に基づき、協議後おおむね90日以内に製作承認図書を作成して提出し、警防救急課の承認を受けた後に製作すること。
- ③ 契約締結後、やむを得ない事由により、製作承認図書の内容を変更しようとするとき、又は不明な点が生じたときは、速やかに警防救急課へ連絡し、指示を受けるとともに、その内容について確認書等を取り交わすこと。
- ④ 設計、製作及び各種部品等について、特許その他権利上の事項を十分考慮するとともに問題が発生したときは、受注者においてその責任を負うこと。
- ⑤ 保証期間は納入後1年とする。ただし、装備品等について各メーカーが公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間までとする。
- ⑥ 保証期間を問わず、設計不良及び材質等の不良に起因する不都合箇所が発生した場合は、受注者の責任において、早急にかつ無償で部品交換又は修理を行うものとする。
- ⑦ 受注者は、更新となる現車両を下取り車として入札金額へ反映させ、新車両納入後に旧車両の永久抹消登録の申請を行った後、抹消登録証明書を警防救急課に提出するとともに、登録事項等証明書（車両が解体されたことが確認できる証明）を併せて提出すること。  
（詳細については別途指示）

## 5 提出図書類

① 受注者は、製作に先立ち次の関係図書を各2部提出して、警防救急課の承認を受けなければならない。

ア 製作工程表

イ 製作図〔艤装外観5面図を含む。〕(縮尺20分の1又はA3に収まる縮尺)

ウ キャビン架装図

エ 電気系統配線図及び配管系統図

オ 車体骨組図

カ その他警防救急課の指示するもの

② 納入に際しては、次の関係図書を各2部提出すること。

ア 最終艤装外観5面図(縮尺20分の1又はA3に収まる縮尺)

イ 外観5面及び取付品並びに積載品等の写真、各種組立て、塗装、検査時の車両製造工程写真(A4ファイル綴)

ウ 車両装備及び特殊装置の取扱説明書

エ 消防ポンプ性能試験成績表

オ 艤装電気配線図

カ 整備解説書

キ 自動車検査証の写し

ク 自動車改造計算書

ケ 適合表示及び鑑定適合証票の写し

コ 緊急自動車届出確認証

サ ISO認証登録証の写し

シ その他警防救急課の指示するもの

6 検査は中間(随時)検査と完成検査とし、富士宮市消防長が指定する職員(以下「指定職員」という。)により次の事項について実施する。

① 中間検査(随時)

ア 材料検査、使用材料明細書と使用部材との突合

イ 配管、バルブ、継手、その他艤装製作図との突合

ウ 製作工程表との突合

エ その他の検査

② 完成検査(納入時)

ア ポンプ性能検査(日本消防検定協会が実施した性能試験成績表をもって代替え可能)

イ 本仕様書に基づく各種検査(艤装全体の検査)

ウ 積載品及び附属品等の数量、各種装置の検収及び機能検査

エ 放水試験、その他警防救急課の指示するもの

③ 各種検査において、不備な点及び機能上・外観上当然改善すべき箇所が発見された場合は、双方が速やかに協議し、対応し、再検査を受けるものとする。

- ④ 検査の依頼は、実施予定日の30日前までに検査日時、場所等必要事項を記載した書面を警防救急課に提出すること。
- ⑤ 受注者は納入まで責任を持って行動し、検定、車検等これを代行し、合格後納入すること。  
なお、これらに係る費用（自賠責保険・自動車重量税・リサイクル料金・新規検査登録費用、検査登録手続代行料、車庫証明手続代行料、希望ナンバー、旧車両の登録抹消及び廃車等に要する手数料及び費用等）全てを受注者負担とする。

## 7 納入

- ① 納入台数は2台とする。
- ② 納入期限は令和8年3月31日（火）までとする。
- ③ 納入場所は富士宮市役所（消防本部警防救急課）とする（詳細については別途指示）。

## 【第2章 概要】

車両は、最新のシャーシを使用し、消防活動に必要な装備及び各種資機材を積載し、災害時における諸活動を迅速に行える構造とする。また、諸構造は堅牢、優美で耐久性に富むものとする。

## 第3章 シャーシ仕様

### 1 概要

#### ① 主要諸元

ア 車体の形状	3 t 級ダブルキャブオーバー型
イ エンジン	ディーゼルエンジン
ウ エンジン出力	日本消防検定協会鑑定出力（2,999cc 以下）
エ 駆動方式	2輪駆動
オ トランスミッション	スムーサEx
カ タイヤ	スタッドレスタイヤ(スペアタイヤ含む。)
キ 乗員人数	キャブ6名

#### ② 車両完成時の寸法等

ア 全長	5,900 mm以下（納車車庫状況により別途協議）
イ 全高	2,600 mm以下（納車車庫状況により別途協議）
ウ 車両総重量	7,500kg 未満（準中型免許対象範囲内）

### 2 シャーシ装備品及び附属品

#### ① シャーシ装備品（シャーシメーカー公表の装備品の他、下記に掲げるものを装備すること。）

ア バッテリー	12V-92Ah以上×2レール引き出し式（ワンタッチ式）
イ オルタネーター	24V 90A以上
ウ パワーステアリング	1式 車両純正品
エ パワーウィンドー	1式 車両純正品（全席）

オ 後退警報機	1 式	ブザー式または合成音声式 (ライト点灯時、音声を消せるもの)
カ ヘッドランプ	1 式	LED 式
キ ドアバイザー	4 式	車両オプション品 (各ドア)
ク 集中ドアロック	1 式	車両純正品 (全席ドア)
ケ AM・FM ラジオ	1 式	車両純正品
コ バックアイカメラ	1 式	車両純正品
サ ドライブレコーダー	1 式	車両純正品
シ DCACインバータ	1 式	1000W
ス その他の必要装備品については、別途協議とする。		

② シャーシ附属品(シャーシメーカー公表の装備品の他、下記に掲げるものを装備すること。)

ア マッドフラップ	1 式	車両純正品 (4 輪分)
イ フロアマット	1 式	車両純正品 (前席、後席)
ウ 停止表示板	1 式	法令適合品
エ タイヤチェーン	1 式	車両純正品 (シングル用 1 対、バンド付)
オ その他の必要附属品については、別途協議とする。		

【第4章 キャブの艤装・架装】

1 キャブ内部

- ① 天井部 (B ピラー上部) に地函等が収納できるルーフセンターコンソール又は同等品を取りつけ、後部座席より出し入れができるようにし、収容物が容易に落下しない構造とする。また、運転席後部の手すりを設け、吊り下げ式の図書収納ボックスを設けること。(別途指示)
- ② 天井部の内装は、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造とする。
- ③ 運転席から操作しやすい位置に P T O スイッチ (ボタン式) を取付け、夜間でも分かるライト式スイッチにすること。また、非常用スイッチを設けること。
- ④ キャブ内左フロントピラー及び左右センターピラーにフレキシブルマップランプ (LED 式) を取付け、個々のスイッチは直近に設けること。(詳細な設置場所は別途指示)
- ⑤ 後部座席全体を照らせる大型 LED ライトを設け、前席に支障が無いような構造とすること。なお、入切スイッチ及びドアの開閉と連動し点灯するようにすること。
- ⑥ 後部座席下部は、シートライザー物入れ横扉式とし、収容物を取出せる構造とする。なお座席と背もたれ部分には、物品等が落下しない構造とすること。
- ⑦ 後部座席背面に防火衣用の自在金具を 5 個設けること。
- ⑧ キャブ内に人員の乗降時及び走行時の安全措置として必要数の握り棒、手すりを設け、手すりには S 字型の吊り下げフックを容易に落下しないように取り付けること。
- ⑨ エアコンは、前席にエアコンを備えること。

## 2 キャブ外部

- ① フロントグリル上部中央に消防団章（150 mm）を円形台座付で取付けることとし、ボディーと台座は旗を取りつけるための隙間（サイズは別途指示）を設ける事（台座はボディーと同色とする。）
- ② 前後座席の昇降ステップは塗装剥離及び滑り防止のためアルミ縞板又は樹脂板等の処置を施すこと。また、昇降に必要な手すりを必要数取り付けること。
- ③ キャブ屋根上に、散光式警光灯（スピーカー、標識灯、モーターサイレン内蔵）、受令機用アンテナ及びデジタル簡易無線機用アンテナを取付け、同軸ケーブル等の配線を内張りの中にする事（アンテナ、ケーブルの詳細については別途指示）。
- ④ キャブ左側リヤピラーに、旗立て（直径32mm程度）をステンレス製で設け、旗竿が蝶ネジで固定できること。

## 【第5章 車両の艤装、架装】

### 1 一般事項

- ① 十分な強度を有し、堅牢で耐久性、耐腐食性に優れたものであること。
- ② 車両総重量は許容重量以内とする。
- ③ 艤装に当たっては、強度を損なわない範囲で、努めて車体重量の軽減及び防腐、防水性を図るとともに、重量バランスを考慮し作成すること。
- ④ 重要保安箇所は、点検整備が容易に行える構造とすること。
- ⑤ 開口部の損傷のおそれのある部分は、ステンレス材等で保護すること。
- ⑥ 車両天上面はアルミ縞板とし、取手等はステンレス製とする。
- ⑦ 開閉扉固定装置は、可能な限り施錠機能付二重ロック構造とする。
- ⑧ 全ての収納庫の扉及びシャッターについては、防水処理を施し、雨水等が侵入しない構造とする。
- ⑨ アルミ・ステンレス材を固定する取付け金具類はステンレス製とする。
- ⑩ 車両側板及びステップ端部の角は、アールを付けた構造とする。
- ⑪ 各収納庫内は必要に応じてスノコ、クッションゴム等を敷き、資機材の保護を図ること。
- ⑫ 資機材はできるだけ同一用途にまとめ、重量物は下部位置になるように配慮すること。
- ⑬ 仕様書に明記されていない装備品、付属品については、メーカー公表の標準仕様とする。
- ⑭ 艤装に使用する材料は、全てJIS規格（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。）に基づいて精選された強度耐久性に富むものを使用すること。
- ⑮ 艤装後の車体については、分団詰所車庫に支障なく収まるようにすること。

### 2 ポンプ関係

#### ① ポンプ装置

ア ポンプは高圧3段タービンポンプ又は高圧2段バランスタービンポンプとしA2級以上のグリスレス構造とする。ポンプの材質は車両全体の軽量化を考慮すること。（別途協議）

イ ポンプはシャーシエンジンのP.T.O（パワーテイクオフ）により駆動され、P.T.Oの操作は運転席において容易に行えるものとする。

② 吸水口

吸水口は、消防呼称75mmボールコック（ストレーナー付）及び75mmエルボを車両両側に各1個設け、75mm×10mの軽量吸管を接続し、各吸水口にはそれぞれエジェクターバルブ（各1個）を設けること。各吸水口に名入れ又は同等品を設けること。

③ 放水口

放水口は、消防呼称65mmボールコックとし、ポンプ室両側の操作しやすい位置に埋込式にて各2個設け、下部にドレン（位置については可能な限り上部に配置）を設けること。また放水口4個のうち、2個は自在接手（45°）とすること。各放水口に名入れ又は同等品を設けること。

④ 中継口

65mmボールコック付をポンプ室両側の操作しやすい位置に埋込式にて左右各1個を設けること。各中継口に名入れ又は同等品を設けること。

⑤ 配管

下欄に掲げる色により分かりやすく色分けすること。

配管内を流動する内容物	水	空 気	潤滑油	グリース	燃 料
色	淡青	白	黄	茶	赤

⑥ 真空ポンプ

ア 真空ポンプは、無公害型無給油式大型真空ポンプとすること。

イ 性能は、動力ポンプの技術上の規格に適合するものであり、総排気量1100cc以上とすること。

ウ 動力の接・断は、電磁クラッチ方式とすること。

エ 揚水開始、停止の操作はボタンスイッチにより行い、非常用揚水ボタンを別に設けること。

オ 自動揚水方式とし、揚水操作に合わせ揚水に必要な回転数の確保及び揚水完了時の揚水停止等が自動的に行われること。

⑦ ポンプ自動調圧装置

ア 放水中、放水ノズル数の増減にかかわらず、各ノズル圧力を一定値に維持するためポンプ圧力を自動的に調整する機能を有していること。

イ 圧力計、連成計、回転計、流量計、各部液晶モニタ、真空ポンプ自動揚水装置一体式とし、操作盤は左右側板に設け、また、ポンプスロットルを設け、安全性を考慮すること。

ウ 自動調圧装置は操作員が容易にかつ安全に操作が行えるものとする。

エ 自動調圧装置の仕様は、以下のとおりとする。ただし、詳細については別途協議とする。

① 圧力の設定は、左右両側面の液晶画面内部又は画面と一体式に取り付けられている押

しボタンスイッチで行い、設定を押す事で圧力制御を行える構造とすること。

液晶画面で設定する場合は、手袋を着用中でも操作可能であること。

- ① 低圧・高圧での制御に対応する為、任意の圧力でも自動調圧機能が作動する構造とすること。
- ② 自動調圧中に中継圧力が高く、エンジン回転数をアイドルまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に警告表示が点滅すること。  
中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に警告表示が点滅すること。
- ③ 自動調圧作動中においては、スロットルハンドルは圧力及びエンジン回転に連動して動かない構造とすること。

## ⑧ ポンプ操作装置

視認性に優れたLEDバックライト式高解像度(800×480ピクセル)7インチカラー液晶画面で、操作スイッチは液晶画面の耐久性を考慮して、画面と一体式に取付られている押しボタンスイッチにより運転・画面切替等の操作が容易にできるものとする。また、液晶モニタ式運用操作盤は車体左右にそれぞれ設け、次の機能を有すること。

ア 圧力計・連成計はリタード式とし、振動等でも針振れがない構造とすること。

イ ポンプスロットルは電子式スロットルとし、車体左右にそれぞれ設けるものとする。操作は、車体左右どちらにおいても時計回り操作にてポンプ回転数が上昇し反時計回り操作にてポンプ回転数が下降するものとし、円滑にて微調整が可能であること。

ウ 操作装置、計器類を見ながら容易に操作ができる位置に取り付けるものとする。また故障等に備えて別途非常用操作装置を設けること。

エ スロットルインターロック

PTOがつかない場合は、全てのスロットルハンドルを操作してもエンジン回転操作ができない構造とすること。

オ 緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドルまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

カ 多目的表示ディスプレイは視認性に優れた液晶画面で、次のものが表示できるものとする。

モニタ表示	<ol style="list-style-type: none"><li>1 真空ポンプ作動タイムに対する表示及びブザーによる警告音</li><li>2 揚水・放水の状況・各ボールコック及び冷却水の開閉状況</li><li>3 ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計・積算流量計・ポンプ使用時間計をデジタル数値による表示</li><li>4 ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況を把握できる流水表示</li><li>5 その他バッテリー電圧表示、等その他、各種取扱説明等の解説の表示</li></ol>
-------	---

	<p>(詳細については別途協議)</p> <p>6 水槽付き車両については、水量計の残容量を表示し、4分の1になると警告表示及び警告音を設けること。また警告音をOFFにした場合は、水槽量が2分の1を超えた場合は警告音をONに自動復帰させること。</p>
--	--

⑨ その他

- ア ポンプ室の上部には整備用開放扉を必要数設けること。
- イ 吸・吐水コックは補修に必要な箇所を取外しができる構造とすること。

3 車両関係

- ① 艀装材料は鋼板とし、総合的な重量軽減を図るとともに車両重量のバランスを考慮し製作すること。
- ② バンパー上面はアルミ鎚板張りとする。また、人が乗っても変形しないよう十分な強度をもたせること
- ③ 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- ④ 車両側板は周囲を外側に折り曲げ、各ステップは端部周辺を折り曲げる構造とすること。
- ⑤ ボディー形状は箱型とし、車両ポンプ室上部に可能な限り大型のシャッター式の収納庫、可能であれば車両両側面下部に下開き又は横開きの収納ボックス、後面にシャッター式の大型格納庫を設けること。なお、シャッターはアルミとし色は別途指示とする。
- ⑥ 後輪タイヤ上部に軽量かつ防錆性に富む強度の高い丸型フェンダーを取り付けること。
- ⑦ 車両前部、後部（各2か所）にLED警光灯を取り付け、前部及び後部LED警光灯は散光式警光灯と連動とする。
- ⑧ 左右ポンプ室上部の収納庫には65mm巻きホース4本以上、木製等の大型収納ボックスを収納できるシャッター式の収納庫を設け、底部にはプラスチック製スノコ及び水抜き穴を設けること。なお、設置する部分にはローラーを設け落下防止措置を講ずること。
- ⑨ 左右ポンプ室上部の収納庫内にはデジタル簡易無線機用送受信器ボックスを設け、配線等必要な処置を施すこと（詳細に関しては別途協議）。
- ⑩ 車両後面のシャッター式大型格納庫に、次の資機材を木製等の収納ボックス及び取付金具等で固定処置を施し、安全かつ容易に取り出せる構造とすること（位置に関しては別途協議）。
  - ア 自立式LED投光器、コードリール、発電機
  - イ 燃料携行缶（横型10リットル）
  - ウ 65mm用ホースバック3式（2個・内1個には二又分岐管及びクワドラノズルを収納
  - エ その他指示する製品（防火衣収納可等）
- ⑪ 車両側板両後部側に吸水管を円型に積載し、吸水管固定金具にて固定すること。

⑫ 車両側板には次の資機材を取り付け、安全かつ容易に取り出しできる構造とすること  
(詳細については別途協議)。

- ア 無反動管そう(2本)
- イ 消火栓蓋開閉器具(T字型)
- ウ 地上式・地下式消火栓開閉金具
- エ 消火栓等蓋開閉金具(日の出製)
- オ 吸管スパナ
- カ ディスクストレナー(ベルト固定)
- キ スタンドパイプ
- ク 車止め
- ケ ニ又分岐管
- コ クワドラフォグノズル

⑬ 車両側面左右上部に鳶口各3本を安全かつ容易に取り外しができる取付金具を設置し、危険防止のため保護板を設けること。

⑭ 車両側面左右上部各1か所に周囲が照射できるカバー付き作業灯及び夜間運用の為計器灯を左右に各1か所取付けるとともに、各収納庫内を有効に照射できる照明ライトを必要数取り付けること。(取付け位置は別途協議)

⑮ 車両後部左右に照明灯(伸縮式・LED式)各1基を取付け、コネクター及びスイッチを設けること。(取付け位置は別途協議)

⑯ 車両後部には次の資機材を収納又は取り付け安全かつ容易に取り外しが出来るように取付けること。(詳細に関しては別途協議)

- ア ストレート管槍(2本)
- イ 金てこ

⑰ 車両側面左右にデジタル簡易無線機及び受令機用の外部スピーカー(埋め込み式)を取付け、入切スイッチを設けること。(取付け位置は別途協議)

⑱ 車両天井部には、アルミ縞板製ボックスを設置し次の資機材をボックス内に取り付けること。ただし、収納できないものについては、安全かつ容易に取り出しできる構造とすること。  
(詳細については別途協議)

- ア ABC粉末消火器(20型)
- イ 角スコップ
- ウ 剣先スコップ
- エ 掛矢
- オ チェンソー用収納BOX(本市支給品)
- カ 関東梯子(鋼管製)

⑲ 車両天井部外周に手すりを設けること。

⑳ 車両後部からの天上部への昇降用の展開式梯子(プルステップ)を設けること  
(位置については別途協議)。

㉑ 車両前後部下部にけん引フックを設けること。

㉒ 積載品等でボディに接する部分は、保護板等を取付けること。

- ⑳ 車両後部下左右はホースブリッジが収納できる構造とし、落下防止措置を講ずること。  
なお、傾斜路における接触を避けるための処置を施すこと。  
(地域状況、車庫状況等により、車両後面シャッター内も検討すること。)

#### 4 水槽

- ① ポンプ室後方に容量 1,000 リットル以上（総重量を計算して可能な限りの容量）の角型水層式の水槽を設けることとし、上部に有効な丸型マンホールを設け、蓋は気密に造ること。
- ② 水槽材料はステンレス鋼板製又は樹脂製とし、内部には有効な防波板を設けること。
- ③ 水槽本体は、振動・衝撃等により損傷、緩みを生じないような構造とし、さらに水圧に対して変形及び水漏れが生じることなく、水槽内部は清掃等が容易に行える構造とすること。
- ④ 水槽にはオーバーフローパイプ（内径75mm）を取り付けること。
- ⑤ 車両側面左右に水補給口、タンク送水コック、タンク吸水コックを設けること。
- ⑥ 補給口は、消防ホース65mmが結合できる構造（キャップ付）を左右側面に設けること。
- ⑦ 水槽よりポンプへの吸水配管は、水槽水の全量が速やかにポンプへ送水できるように設け操作レバーはポンプ室左右側板の水量計を見ながら操作しやすい位置に設けること。また、接続配管には必要に応じ緩衝装置を設けること。
- ⑧ ポンプより水槽への送水配管は、操作レバーはポンプ室左右側板の水量計を見ながら操作しやすい位置に設けること。また、接続配管には必要に応じ緩衝装置を設けること。
- ⑨ 排水口は、水槽内の水を全て排出でき、排水操作が容易に行える位置に設けること。
- ⑩ ポンプ室左右側板の水量計（保護管、浮子付）は、水量が容易に視認できるものとする。

### 【第6章 電装品関係】

#### 1 キャブ内

- ① 電子サイレンアンプ 1 式を助手席付近に取り付けること。
- ② ドライブレコーダーを運転席付近に取り付けること。
- ③ バックアイカメラ用のモニタを運転席付近に取り付けること。
- ④ キャブ内助手席付近に車載型デジタル簡易無線機及び受令機（本市より支給）を取り付けること（詳細については別途協議）。
- ⑤ キャブ内センターピラー上部にデジタル簡易無線機及び受令機用のスピーカーを取り付けること。
- ⑥ キャブ内運転席付近及び助手席付近に合計 2 個のモーターサイレンスイッチを設ける事。助手席についてはモーメンタリー、運転席についてはオルタネイトとし赤色灯作動時のみ使用可能とすること。
- ⑦ 運転席及び助手席後部に 2 口コンセントをそれぞれ 1 個設ける事。

#### 2 キャブ外

- ① キャブ上部に散光式警光灯を設置すること。

- ② キャブ上部にモーターサイレンを設置すること（詳細位置については別途協議）。
- ③ 前部 LED 警光灯
  - ア フロントパネル左右に取り付けること（詳細位置については別途協議）。
  - イ 散光式警光灯と連動すること。
- ④ 側面 LED 警光灯
  - ア 車両側面の左右上部にそれぞれ2灯取り付けること（詳細位置については別途協議）。
  - イ 散光式警光灯と連動すること。
- ⑤ 後部 LED 警光灯
  - ア 車両後部の左右上部にそれぞれ取り付けること（詳細位置については別途協議）。
  - イ 散光式警光灯と連動すること。
- ⑥ 側面照明
  - ア 車両左右の計器盤上方にそれぞれ1か所 LED 式計器灯を設置すること（詳細位置については別途協議）。
  - イ 車両側面左右上部 LED 警光灯の並びに LED 式照明灯をそれぞれ1灯取り付けること。
  - ウ 点灯は、キャブ内スイッチ単独点灯式とすること。
- ⑦ 車両右側にバッテリー充電用自動充電器（車両用マグネットコンセント付）を設け、通電確認ランプを取り付けること。
- ⑧ 車両側面左右にそれぞれ 100V用 2口コンセント（蓋付き）を取り付け、防水処理を施すこと。
- ⑨ 車両後方下部に車幅灯を取り付けること。

### 3 その他

- ① キャブ屋根上に取付けた電装品は、強固に取り付けるとともに防水処理を施し、配線は屋根裏からセンターピラーを通すこと。
- ② 各電装品の予備球及び予備ヒューズは、専用の箱を作製し、一通り付属すること。
- ③ 各球等は、交換等が容易な構造とする。
- ④ 車載型デジタル簡易無線機の登録申請、書類作成及び電波利用料（1年分）を契約金額に含むこと。

## 【第7章 塗装及び文字等の記入】

### 1 塗装

- ① 外面は、特殊化学液で錆を落とした後、防錆処理を施し、プライマーパテ付き水研ぎ、サフエーサー等を行い、十分乾燥させた後、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料の朱色にて塗装すること（詳細は別途協議）。
- ② 塗装塗分けについて
  - ア ポンプ室内 シルバー
  - イ ポンプ配管 シルバー
  - ウ 収納庫内 シルバー
  - エ シャッター レッド（車両同色、縁については無塗装）

オ 艀装下部 黒色

カ キャビン内 キャビン色

- ③ その他塗装しない部分は、アルミ、ステンレス、メッキ部分とする。  
(詳細については別途指示)

## 2 文字等の記入

- ① 左右の後部ドアに「富士宮市消防団第5分団または富士宮市消防団第8分団」と横書きで記入する。  
(記入位置等の詳細については別途協議)。
- ② 車両前部左側に「5または8」(分団名)を記入すること(詳細は別途指示)
- ③ 車両側部シャッター部分に「5または8」(分団名)を記入すること(詳細は別途協議)。
- ④ 車両後部シャッター部分に2段で「富士宮市消防団第5分団または富士宮市消防団第8分団」を記入すること。  
(詳細は別途協議)。
- ⑤ 散光式警光灯の標識灯には「第5分団または第8分団」(分団名等)を記入すること。  
(詳細は別途協議)
- ⑥ その他警防救急課が指示するものを記入すること(詳細は別途協議)。
- ⑦ メーカーのシンボルマーク等の表示については、別途指示するものとする。

【第8章 装備品および附属品については、別紙1(装備品及び附属品について)を参照】

【第9章 積載品および附属品については、別紙2(積載品及び附属品について)を参照】

## 【第10章 その他】

- 1 本仕様書内容において、疑義が生じた場合又は変更を必要とする場合は、指定職員に連絡し指示を受けること。
- 2 本仕様書に記載されていない事項であっても、受注者は責任を持って最良の方法で施工すること。
- 3 シャーシ整備上、必要な所用部品は将来10年以上確保すること。
- 4 取付品、取付装置等の詳細位置は、両者協議の上決定するため、受注者は契約締結後、直ちに指定職員と協議すること。
- 5 年末年始及び休日の車両故障等による緊急連絡先、担当者氏名等を明記したアフターサービス体制の概要書類を提出すること。

6 納入時は、燃料タンクを満量とすること。

## 別紙1 装備品及び付属品について

NO	品名	内容	数量
1	ポンプ圧力計（ブルドン管）	100mm丸型 ポンプ室左右各1個	2個
2	ポンプ連成計（ブルドン管）リタード式	100mm丸型 ポンプ室左右各1個	2個
3	真空・揚水表示ディスプレイ	左右計器盤に各1個（ボタン式液晶モニター）	2個
4	流量計	メーカー仕様による（液晶モニター内表示）	1式
5	積算流量計	メーカー仕様による（液晶モニター内表示）	1式
6	ポンプ回転計	メーカー仕様による（液晶モニター内表示）	1式
7	ポンプ使用時間計	メーカー仕様による（液晶モニター内表示）	1式
8	電子サイレンアンブ	大阪サイル：TSK-D252 Mark-D2 同等品以上可	1式
9	散光式警光灯	名古屋電機工業株式会社：XB24-F3A50（ギャップスペーサー）	1個
10	モーターサイレン	大阪サイレン5SA同等品以上可	1個
11	LED警光灯（前部）	大阪サイルLFA-200同等品以上可	2個
12	LED警光灯（後部）	大阪サイルLFA-200同等品以上可	2個
13	LED警光灯（側部）	大阪サイルLFA-200同等品以上可	4個
14	照明灯	LED LIA-200	2個
15	計器灯	LED 左右計器盤上方に各1個 LIA-W2	2個
16	ポンプ室内灯	LED	1個
17	収納庫内灯	LED	必要数
18	デジタル簡易無線機（車載型）	アイコム IC-D6005（分岐器・接続器他付属品含む）	1式
19	受令機（支給品）	キャブ内（移設・オーバーヘッド取付）	1式
20	無線機用・受令機用スピーカー	キャブ内、外部用左右（PS-105）	4個
21	車外無線送話ボックス	左右シャッター式収納庫内または左右側面	2式
22	無線機用・受令機用 アンテナ・同軸ケーブル	キャブ天井部	1式
23	インバータ	車両側面（両側）及び車内2口コンセント（2箇所）	1式
24	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1個
25	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1個
26	方向指示器	シャシ固有のもの	4個
27	後退灯	シャシ固有のもの	1個
28	路肩灯	LED	1式
29	後退警報機	シャシ固有のもの	1個
30	車幅灯（黄色）	LED	2個
31	サーチライト	利他PCH14-P（伸縮棒付き）	2式
32	バッテリー充電用自動充電器	車両用マグネットコンセント付	1式
33	ドライブレコーダー	車両純正品	1式
34	バックアイカメラ	車両純正品	1式
35	防火衣用自在金具	キャブ内後部座席背面	5個
36	吊り下げ式収納ボックス	A3図書が入るもの	1式
37	吊り下げフック	S字型	6個

## 別紙2 積載品及び付属品について

NO	品名	内容	数量
1	吸水管	呼称75mm×10m (大阪ゴム製 軽量)	2本
2	吸口エルボ	呼称75mm らくらく45°	2個
3	吸口ストレーナ	プラスチック製	2個
4	ストカゴセット③ (車両吸管用)	吸管ロープ付き	1個
5	吸管枕木	ゴム製	2個
6	中継口ストレーナ	プラスチック製	2個
7	中継用媒介金具	呼称65ネジメス×65差込メス (YONE AS-65)	2個
8	消火栓媒介金具 (車両吸管用)	呼称75ネジメス×65差込メス (真空可) (YONE AS-75)	2個
9	媒介金具 (ディスクストレーナー用)	呼称75ネジオス×65差込オス (型番なし: 特注)	1個
10	放口媒介金具	呼称65ネジメス×65差込オス (YONE AN-65)	2個
11	放口媒介金具 (スイベル式)	呼称65差込オス×65ネジメス (YONE ANS-65)	2個
12	媒介金具	呼称65差込メス×40差込オス (YONE AD-65・50)	5個
13	クワドラフォグノズル	YONE NF-50QFS (0.5MPa仕様)	1個
14	自立式LED投光器	HATAYA 60WLEDWORKLIGHT (1灯タイプ・スタンド付き)	1式
15	コードリール		1台
16	発電機	ホンダ:EU9i	1式
17	車輪止	ゴム製 (中) 黒色	2個
18	とび口	1.8m (GFT グラスファイバ製)	6本
19	ホースブリッジ	大阪サイレンCB450	1式
20	ホース (袴色付き分回名指定あり)	65mm×20m キンパイ SP-H-AAA (別注付付きホース)	10本
21	給水ホース (水槽付必要)	65mm×10m SP-H-AAA (別注付付きホース)	1本
22	ホースバック	FS・Japan 大型ホースバックⅢ V2	3個
23	消火器	ABC20型自動車用	1本
24	ディスクストレーナー	日本機械工業製	1式
25	補修用ラッカー	赤・黒・シルバー (各種)	1本
26	工具	シャシ付属品	1式
27	タイヤチェーン	取付タイヤに適合したもの	1式
28	燃料携行缶	横型10リットル (同等品可)	1個
29	折りたたみ式担架	日本船舶薬品(株): TT-1044-006	1個
30	角スコップ	金属製	1丁
31	剣先スコップ	金属製	1丁
32	地上式消火栓開閉金具	前澤式	1丁
33	地下式消火栓開閉金具		1丁
34	消火栓等蓋開閉金具	日の出製 十字型	1丁
35	消火栓蓋開閉金具	T字型	2丁
36	スタンドパイプ	YONEPS-65・800単口引上式	1本
37	吸管スパナ	75mm65mm兼用	2丁

## 別紙2 積載品及び付属品について

NO	品名	内容	数量
38	ニ又分岐管	マルチタイプ WB-65MC	1個
39	無反動管そう		2本
40	可変噴霧ノズル		4個
41	ストレート管槍	別途協議	2本
42	金てこ	0.8m	1丁
43	掛矢	木製	1丁
44	ジェットシューター	バルファーストVF	5式
45	はしご	関東梯子 鋼管製 K-1-36 (赤色)	1式
46	ホースカー	ホース8本収納、ブレーキ付き	1台